

## 企業を成長に導く、新しい経営スタイル「健康経営®」の取り組み

### ダスキンの健康経営®とは

ダスキンの健康経営®の基本的な考え方は、創業以来培ってきた「祈りの経営」の理念に基づき、働きさんとその家族の健康維持・増進に取り組み、生きがいのある健康で心も豊かな生活の実現を図るとともに、会社の健全な発展に努め、人に社会に、喜びのタネをまき続けること。

働きさんの健康管理を「経営上のコスト」ではなく、将来に向けた「投資」ととらえ、長期的なビジョンに基づき実践していきます。

#### ■「健康宣言」をしている事業所

「健康宣言」は経営者がその意義や重要性を認識し、その考え（理念）を社内外に示すものです。

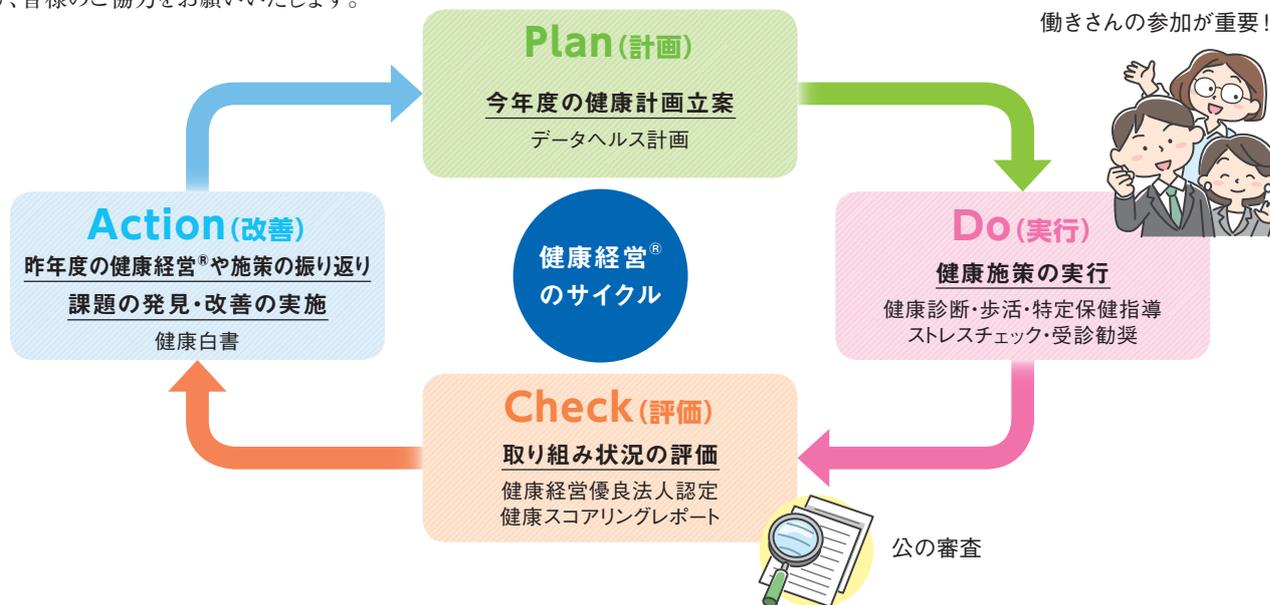
現在、26（24法人、2公法人）の適用事業所が健康宣言をしています。 ※2022年3月末現在

(株)ダスキン	(株)ダスキン伊那	(株)ダスキンプロダクト九州
(株)ダスキンヘルスケア	(株)ダスキン沖縄	(株)エバーフレッシュ函館
(株)ダスキンサーヴ北海道	(株)和倉ダスキン	(株)かつアンドかつ
(株)ダスキンサーヴ東北	(株)小野ダスキン	ダスキン共益(株)
(株)ダスキンサーヴ北関東	(株)ダスキンプロダクト北海道	公益財団法人ダスキン愛の輪基金
(株)ダスキンサーヴ東海北陸	(株)ダスキンプロダクト東北	ダスキン健康保険組合
(株)ダスキンサーヴ近畿	(株)ダスキンプロダクト東関東	※関連会社の(株)ダスキン八代、(株)ダスキン
(株)ダスキンサーヴ中国四国	(株)ダスキンプロダクト西関東	鹿児島も宣言を公表(2社が加入する保険者は協会けんぽです)
(株)ダスキンサーヴ九州	(株)ダスキンプロダクト東海	
(株)ダスキンシャトル東京	(株)ダスキンプロダクト中四国	

#### ■PDCAサイクルで取り組む健康経営®の実践

健康経営®の実践は、PDCAサイクルに基づき、事業所・会社、労働組合・働きさん、健康保険組合の代表による三位一体の体制で取り組んでいます。審査は会社全員の取り組み状況が基本となります。

ぜひ、皆様のご協力をお願いいたします。



#### 健康経営優良法人認定制度とは

健康経営®に取り組む優良な法人を「見える化」し、「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業」として社会的に評価を受けることができる顕彰制度で、毎年審査が行われます。

会社は、健康宣言を通じて、PDCAサイクルで健康づくりを推進する「健康経営®」に取り組み、働きさんが心身ともに健康な状態で働ける環境を整えることが重要です。

働きさんは、会社の取り組みに参加し、健康状態が良好になることで精神的な健康にもよい影響を及ぼします。職場環境がよくなることで、仕事におけるパフォーマンスが高まり、健康に関する知識が深まることで生活習慣の改善につながります。

健康な働きさんが増えることは、業績向上に貢献できる働きさんが増えることとなります。

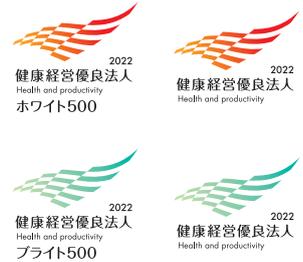
※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

## 「健康経営優良法人2022」の認定取得事業所

6回目となる今回は、日本健康会議から大規模法人部門の8法人が(全体で2,299法人)認定され、(株)ダスキンは上位500位法人に冠を付加する「ホワイト500」の認定されました。

中小規模法人部門には13法人1公法人が(全体で12,255法人)が認定され、ダスキン健康保険組合が「ブライツ500」に認定されました。

※2022年3月9日現在



### 大規模法人部門

- (株)ダスキン(ホワイト500)
- (株)ダスキンヘルスケア
- (株)ダスキンサーヴ北海道
- (株)ダスキンサーヴ東北
- (株)ダスキンサーヴ北関東
- (株)ダスキンサーヴ東海北陸
- (株)ダスキンサーヴ中国四国
- (株)ダスキンサーヴ九州

### 中小規模法人部門

- (株)ダスキンシャトル東京
- (株)ダスキンサーヴ近畿
- (株)ダスキン伊那
- (株)ダスキン沖縄
- (株)和倉ダスキン
- (株)ダスキンプロダクト北海道
- (株)ダスキンプロダクト東北
- (株)ダスキンプロダクト東関東
- (株)ダスキンプロダクト西関東
- (株)ダスキンプロダクト東海
- (株)ダスキンプロダクト中四国
- (株)ダスキンプロダクト九州
- ダスキン共益株式会社
- ダスキン健康保険組合(ブライツ500)

※関連会社の(株)ダスキン八代、(株)ダスキン鹿児島も認定(2社が加入する保険者は協会けんぽです)。

## 健康スコアリングレポート2020年度実績分(抜粋)

※前々年度(2020年度)の特定健診受診者のデータから作成されます。

健康スコアリングレポートは、厚生労働省・経済産業省・日本健康会議が連携して作成し、企業と健保組合が従業員の健康に関する問題意識を共有することで、コラボヘルス(両者の連携)が促進され、予防・健康づくりの取り組みを活性化させる目的があります。**健康状態や医療費、予防・健康づくりへの取り組み状態などを全健保組合や業態平均とで比較した経年変化を見える化した「成績表」とも言えます。**

毎年度、事業所別の詳細な健康課題をまとめ公表している「健康白書」と合わせ、お一人お一人の健康づくりや疾病などの予防への積極的な取り組みにつなげてください。

※ダスキン健保の事業所は複数の業態で構成されているため「その他のサービス業」で業態の登録をしています。

概ね50人以上の事業所分は、各社宛に送付しています(それぞれサービス業・製造業・食品製造業で登録しています)。

※健康白書は、前年度のデータをダスキン健保内で比較をし、毎年送付しています。

### ▼健康スコアリングレポート(抜粋)

※2020年度と2019年度実績

#### ダスキン健康保険組合のレポート結果概要

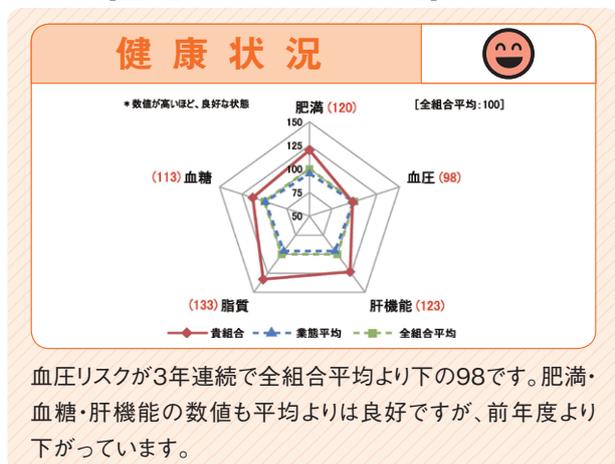
2020年度	特定健診・特定保健指導			健康状況	生活習慣	2019年度	特定健診・特定保健指導			健康状況	生活習慣
	603位/1,126組合	🟢	😊	😊	385位/1,113組合		😊	😊	😊		

2020年度特定健診・特定保健指導の順位が、前年度実績385位に対し、603位と後退しました。コロナ禍の影響で、遅れながらも健康診断は年度内に完了し、特定健診は97位/1,126組合と最上位でしたが、その後実施する特定保健指導の開始遅れや、参加申込者の減少が影響しました(特定保健指導は703位/1,126組合)。

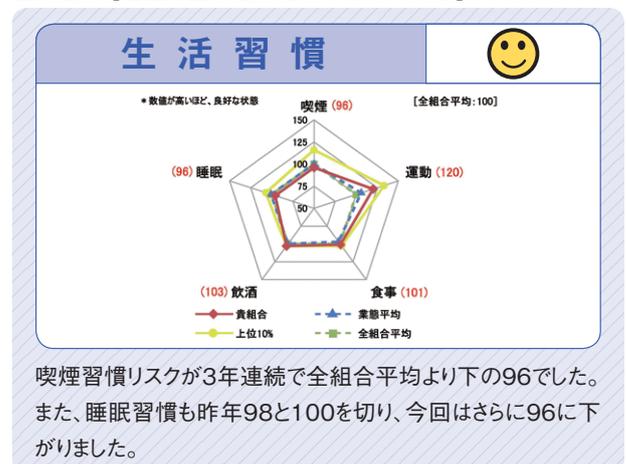
### 2020年度実績

※全組合平均は100。数値が高いほど良好な状態です。

#### 健康状況【生活習慣病リスク保有者の割合】



#### 生活習慣【適正な生活習慣を有する方の割合】



テレワークや営業活動の変化などで、生活習慣が変化しています。日々の運動、食事を整えるほか、特定保健指導などの「生活習慣改善プログラム」に該当の方は積極的に参加いただき、健康の維持に取り組んでください。